

昇任時教育 昇任司令長研修

【実施日時】
令和7年4月17日(木)9時00分～16時30分

【研修内容】()内は講師の所属

◆講義

- 局長訓育(消防局長) ●ペップトーク(外部講師)
- 広聴「クレーム対応」(企画課副課長) ●服務指導・コンプライアンス(監察室長) ●人事管理(人事課副課長)
- ハラスメント・衛生管理(厚生担当副課長)

◆Web研修

- 運営方針・消防局重点目標(企画課副課長)
- 人材育成「職責と役割」(人材育成担当副所長)
- 救急業務(救急指導担当副課長)



ペップトーク (PEP TALK)

「ペップトーク」(人を前向きにさせる言葉)についての講義風景。ポジティブな力を引き出す言葉の力に、思わず引き込まれてしまう熱い内容でした。

センター教育・研修を徹底解剖

Just Do It!

第15回 昇任時教育「昇任司令長研修」

高度専門教育訓練センター



山田 悟司

今月の担当教官(山田)のひとこと

消防司令長が、いかに見えないところで所属のために動いてくれているかを実感するとともに、私自身、まだまだ想像のおよばない消防の世界があることを思い知らされた研修でした。

消防司令長とは

今月は昇任時教育の一つである昇任司令長研修について取り上げます。
本研修は、今年度、消防司令長に昇任された方を対象とするものです。主な研修内容は、「広聴」「人事管理」「ハラスメント」「衛生管理」となっており、管理者として求められるスキルを身に付けるとともに、「コンプライアンススキル(概念化能力)」を向上させることを主な目的としています。
前年度までは2日間に分けて実施していましたが、本年度は万博モードに伴う業務改善の一環として、Web研修を活用し、1日間の研修となりました。

消防司令長は、各署の警防担当課長や各課の副課長など(以下司令長とする)として勤務する階級です。ここでは、経験の浅い若年層職員等には見えにくいと思われる、司令長の役割についてまとめます。
消防司令以下に必要とされるのは、「市民安全志向」「能力向上志向」「目標達成・改善志向」といった、市民の安全安心を守るための能力です。それらに加えて、司令長には「市民志向」「企画立案力」「理解説明力」といった市民目線・組織方針に沿った施策実現能力とともに、部下職員を守るための管理統率力が求

ミニ講座 人は期待に応える

ここでは、外部講師による講義「ペップトーク」で取り上げられた、二つの用語についてご紹介します。

ピグマリオン効果

人材育成や教育に携わる立場にある人なら、ぜひ知っておきたい用語に「ピグマリオン効果」があります。これは、ギリシャ神話に登場する王ピグマリオンが、自分が作った彫刻に恋心を募らせ、神にその彫刻を人間にしてほしいと祈ったところ、その願いが叶ったという話がもとになっている用語です。

教育心理学では、周囲から期待されることによって学習成績が向上したり、作業効果が上がることを「ピグマリオン効果」と呼んでいます。

ゴーレム効果

ピグマリオン効果とは逆の現象として知られるのが「ゴーレム効果」です。こちらは周囲からの期待が低かったり、否定的な評価をされることで、人のパフォーマンスが低下する現象を指します。

められます。

司令長に必要な能力については、大阪市消防職員の標準職務遂行能力に関する要綱として、「人材育成のための人事考課ハンドブック」にまとめられています(表)。

表 消防司令長に求められる能力

① 管理統率	課長級等の補佐として、全市的な観点から適切な合意点を見出せる施策の判断を行い、円滑な業務遂行に向けて、部下を指揮統率することができる。
② 市民志向	市民の要請を正しく理解するとともに、法令、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行できる。
③ 業務運営	業務効率、市民サービスの向上等の観点から、業務・組織の改善・改革に取り組み、課長等の補佐として、関係先と適切な調整及び交渉を行うことができる。
④ 人材育成	人材育成の実施責任者として、部下に対して適切な指導育成を行うことができる。

参考:大阪市消防職員の標準職務遂行能力に関する要綱(別表2)

人は周囲からの期待に応えるものです。人材育成や教育に携わる立場になったら、自らの気持ちは部下や後輩に伝わるものとして、指導に当たっていたきたいと思います。

人材が育つ職場環境を目指して

研修受講後のアンケートでは、学んだことを活かしたいという積極的な意見が多く聞かれました。

研修受講後の声

- ・部下が成長しやすい環境を整えるなど、研修で学んだことを人材育成に活用したい。
- ・モチベーションを上げながら職務に取り組んでもらえるよう、若手職員に接することが大切だと実感した。
- ・講師から得た知識は非常に参考になったので、今後の部下への接し方の一助になると思う。
- ・署の職員とのコミュニケーションを大切にして意見を出し合い、明るい職場づくり、人材が育つ職場づくりに貢献していきたい。

人材育成に真摯に向き合う職員が増えることで、若年層職員がのびのびと育つ職場環境が整うことを願っています。

熱中症と向き合おう！

はじめに

今年の夏も暑いですね。夏といえば海水浴やBBQ、夏祭りなど楽しいことが盛りだくさんの季節ですね。しかし、注意しないといけないのが「熱中症」です。この夏を楽しく元気に過ごしていくためにも、熱中症予防を心がけていきましょう。

今回の救急いゝはでは、大阪市の熱中症による搬送状況や予防救急、応急手当の方法を紹介します。

大阪市内の熱中症による搬送者数

大阪市内において、過去5年の熱中症による搬送者数を表したのが図1のグラフです。令和3年に極端に搬送人数が減っているのは、新型コロナウイルス感染防止対策として緊急事態宣言が出され、外出自粛が要請された影響があったものと考えられます。令和4年以降は毎年300人以上、熱中症による搬送者数が増加している状況です。

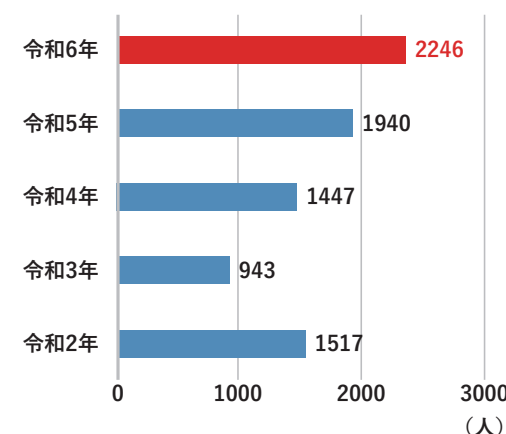


図1 過去5年間の熱中症による搬送人数

熱中症の予防対策「プレクーリング」

熱中症を予防する代表的な方法は、①のどが渇く前の水分補給、②室内温度の適切な保持、③十分な睡眠時間の確保、④毎日の適度な運動、⑤バランスの良い食事摂取、とされてきました。これらに加えて、ぜひ取り入れていただきたいのが「プレクーリング」です。

事前に冷えたものを体内に入れるなどしてプ

熱中症に対する応急手当

次に、もし熱中症になってしまったときの応急手当を紹介します。熱中症になると、次のような症状が現れます。

- ① めまいや立ちくらみ
- ② 筋肉の痛みやこむら返り
- ③ 汗が止まらない
- ④ 頭痛や吐き気
- ⑤ 倦怠感

このような症状が出たら、すぐに涼しい場所へ避難しましょう。次に衣服を脱がせ、ベルトやネクタイ、下着などを緩めて風通しを良くし、露出させた皮膚に濡らしたタオル等を当て、うちわや扇風機で風を送り体を冷やしましょう。

氷のう等で首、わきの下、太ももの付け根を集中的に冷やすのも効果的です。呼びかけに対する応答がしっかりしており、自分で水分を摂れるようであれば、冷やした経口補水液やスポーツドリンク、食塩水等を飲ませましょう。ただし、自ら水分を補給できない状態であれば、すぐに病院へ連れて行きましょう。

環境省のウェブサイトにも、応急処置のフローチャート(図2)が掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。



環境省熱中症予防情報サイト

長時間運動をする際は要注意

長時間の運動や屋外活動中に過剰な水分補給を行うと、低ナトリウム血症を引き起こす可能性があります。そのため注意が必要です。

低ナトリウム血症とは

低ナトリウム血症とは、体液量に対して血中に含まれるナトリウムの量が少な過ぎる場合に

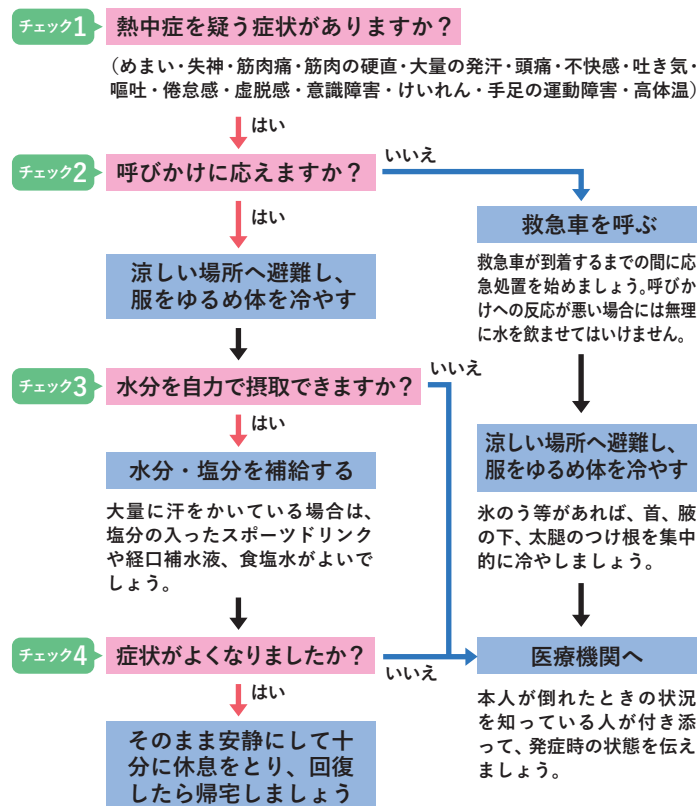


図2 熱中症を疑ったときにすべきこと

出典：環境省熱中症予防情報サイト
(https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_pr.php#manual)

おわりに

熱中症は、「少しの注意と心がけ」で防ぐことができます。今回の救急いゝはをきっかけに、少しでも熱中症予防や応急手当について意識していただき、暑い夏を楽しく元気に乗り越えていきましょう。

今回は
バリアブルレジスタ
について紹介します!

佐藤主任 (さとちゃん)



バリアブル
レジスタ

難しい内容ですが、
最後まで読んでね!

大山士長 (とうい)



バリスタは、バリアブルレジスタのことで、電気製品の基板内にある電圧によって抵抗値が変わる電子部品やねん!



分かったような分からないような?

んー、右の図で説明するで!
電気を水に例えると、水(電気)が流れることで水車が回る(電気製品が使える)ねんけど、水車が機嫌よく回るには、適切な水(電気)の量があるねん。



水の勢い(電圧)

水車(電気製品)

水(電流)



なるほど! 分かりやすいです!



でも、大雨が降ると、水の勢い(電圧)が増して、流れる水量(電気)も増える。度を超すと水車(電気製品)が壊れてしまう。

そこで登場するのがバリスタですか!



そう!

美味しいコーヒーを淹れてくれるあの人ですね!

いや、それちゃう笑

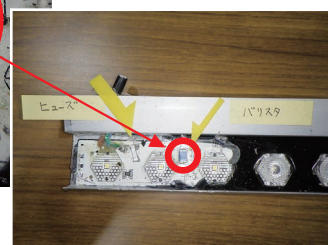
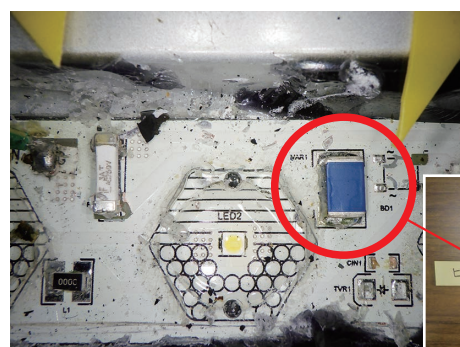


一般的な抵抗器は電圧がかかればかかるほど、それに比例して電流が流れるけど、バリスタは一定以上の電圧がかかると一気に電流が流れやすくなる性質があるねん! グラフで表すとこんな感じ!

なるほど! 電気製品が壊れないようにするには、どんな形で使用すれば良いんですか?

さっきの図でいうと、水路の途中にもう一本水路を作って、水量が多い時にだけ水路を開放すれば、水車へ流れる水は調整されるよね? バリスタも同じように電気回路に接続すれば、電圧が高くなった時にバリスタの方へ電流が流れやすくなるから、電気製品へは過電流が流れなくなるねん!

バリスタの写真



水路
水の勢いが強い時に開放

こんな形もあるで!



今回の火災は、LED ライトで使用しているバリスタが経年劣化により抵抗値が下がって、バリスタの許容以上の電流が流れて発熱し出火してしまったんだ。

どうしたら火災を防げましたか?



バリスタは経年劣化や過電圧を受け続けたりすると抵抗値が下がったりするねん! 抵抗値が下がると電流が漏れる(想定より高い電流が流れる)から、電流を測定すると劣化度合いが分かたりするで!

バリスタは電圧によって抵抗値が可変する電子部品!
高電圧が加わる時に抵抗が下がることで電気製品に過電流が流れないようにし、電気製品が壊れるのを防ぐ!



今回は少し難しい内容でしたね! 次号も読んでね!



5月



学校長点検

5月16日、初夏の青空のもと、第118回初任教育生にとって初めてとなる学校長点検が実施されました。

日差しが強く、立っているだけで汗が滲む日。学生たちは頭の先から爪先まで神経を集中させ、学校長を初めとする幹部職員の前で規律のある点検を実施してくれました。点検中の各個動作は、号令に戸惑っていた1カ月前とは違い、大きな成長を感じました。

5月に入り、消火・救助・救急ともに本格的な訓練が開始され、放水訓練、ロープ基本結索訓練、CPR訓練等を行いました。真夏の暑さに備え、日々暑熱順化トレーニングにも取り組んでいます。

また、6月には所属研修が実施予定ですので、来月号はその様子をご紹介します。

暑熱順化トレーニング

猛暑での訓練に備えて、暑熱順化トレーニングについて学びました。トレーニングでは、ランニング、踏み台昇降、階段ダッシュで適正心拍数に達しているかを確認しました。

初任教育生は課外時間を活用し、継続して暑熱順化トレーニングに取り組んでいます。



放射熱訓練

火災防ぎよの授業の一環で、木造住宅火災を想定し、模擬家を燃焼させて、放射熱訓練を行いました。

延焼経路、活動姿勢の大切さ、注水の必要性や効果について学びました。

火勢を目の当たりにし、いかに消防士が危険かを改めて実感した訓練となりました。



放水訓練

消火訓練では、ダブルコントロールノズルやガンタイプノズルによる基本の放水訓練を実施し、それを応用した屋内進入要領等を学びました。

放水を伴う火災事案では、屋内進入等の職員負傷リスクが非常に高くなるため、基本的な知識や技術に加え、安全管理能力も求められます。

1分1秒を争う火災現場で安全・確実・迅速な活動が行えるよう、初任教育生は継続して訓練に励みます。



CPR訓練

救急隊が実施する応急処置の中にフィンハレータ付きBVMを用いた人工呼吸(補助換気)があります。時には数十分間も継続しなければなりません。

こちらは、傷病者の命を救う非常に重要な手技であり、初任教育生も真剣な眼差しで訓練に取り組んでいます。



ロープ基本結索訓練

救助の基本となるロープ基本結索について、約12時間の訓練を行いました。

慣れないロープに戸惑いながらも、全ての訓練を終え、基本結索の重要性を学びました。

今後は、ロープ渡過訓練や懸垂降下訓練等を予定しています。初任教育生は、継続して救助訓練に取り組んでいます。



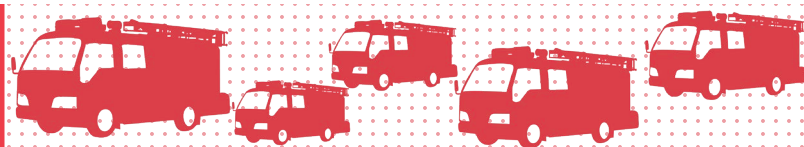
空気呼吸器訓練(煙中訓練)

消防活動に欠かせない空気呼吸器について、点検要領や着装訓練を実施しました。

また本訓練では、実際に煙を焚いての煙中訓練を行い、視界不良の恐怖感や火災現場でコミュニケーションを図ることの困難性を体験しました。

この訓練で得た知識・技術を生かし、消火訓練等の複合した訓練に挑みます。





吹田市消防本部

北大阪消防指令センターにおける 大規模災害発災時対応訓練

令和6年4月から大阪府北摂5市2町による指令業務共同運用を開始した北大阪消防指令センターで令和7年2月6日に大規模災害発災時対応訓練を実施しました。

北大阪消防指令センターは共同運用による効率的な指令業務を可能にする一方で、各市消防力等の違いから運用面で課題もあります。特に大規模災害発生時には、各市の消防力を有効に活用するために、消防指令センターと各市の警防本部が円滑な連携を行う仕組みづくりが必要不可欠となります。そのために、職員の役割を明確にして連携する上での課題を整理する目的で訓練を実施しました。

今後、人員に変更があった場合でも知識、技術をブラッシュアップしていくために同様の訓練を継続して実施する必要があると各職員が改めて認識しました。



池田市消防本部

夏休みに向けて花火指導を 実施しました

池田市消防本部では、子ども達が花火をする機会が増える夏休みを迎える前に、6月から7月にかけて管内の保育園・幼稚園に職員が出向いて花火の正しい使い方を指導しています。職員による寸劇から出されるクイズを園児たちに〇×で答えてもらい、その後DVDを鑑賞し防火意識・花火に対する理解が深まれば実際におもちゃ花火を体験してもらっています。園児たちからたくさんの応援を受けた先生に、水消火器を使用した消火訓練を行ってもらい、最後に施設の査察を実施しています。

花火はとてもきれいで楽しいものですが、使用方法を誤るとやけどや火事につながります。花火による火災などの事故を起こさないよう、これからも花火指導を行っていきます。



東大阪市消防局

東大阪市消防局警防部救急課発足

令和7年4月1日、東大阪市消防局警防部内に「救急課」を設置しました。これまで警防部警備課（現：警防部警防課）が所掌していた救急業務に係る事務について、単独課としてより体制を強化するためです。増加する救急需要への対応をはじめ、高度化する救急業務のさらなる推進、大規模災害時における医療機関との連携強化など救急行政を取り巻く様々な課題に戦略的に取り組む目的があります。

今回の発足で、より一層救急行政を充実させ、安全・安心なまちづくりを進めるとともに「市民生活の安全確保」に努めてまいります。

【問い合わせ先】

東大阪市消防局 警防部救急課

TEL:072-966-9100（直通）

Mail:shobokyukyu@city.higashiosaka.lg.jp



堺市消防局

堺市総合防災センターが 開設3周年を迎えました

堺市消防局では、地域防災力の向上を目的に本市の防災に関する中核拠点として、令和4年4月に堺市総合防災センターを開設しました。

「あなたとあなたの大切な人を守るために」をコンセプトに、こどもから大人まで楽しく防災を学べる体験型施設としてリアルな実体験を中心とした防災啓発を行っており、開設から3年間で延べ17万人を超える方にご来館いただきました。

この度、5月3日～5日の3日間で開設3周年を記念したイベント「3rdアニバーサリー」を開催しました。防災グッズが当たるガラガラ抽選会、消防車両や救助訓練を間近で見てもらえるエリア等、防災を考えるだけでなく、消防を身近に感じてもらえるようなイベントとなりました。

今後も家庭での災害への備えを促進するため、幅広い年齢層の方楽しんでいただけるイベントを企画していきます。

今回は8月に夏休みイベントを予定しておりますので、ぜひ堺市総合防災センターへお越しください。